

普及成果情報様式

[成果情報名]「桜吹雪」模様の卵をよく産む、新たな「卵用名古屋コーチン」を開発

[要約]開発した新「卵用名古屋コーチン」は、従来に比べて産卵数が多いだけでなく、卵重が 52 g 以上である MS サイズ以上の卵を多く産む。また、名古屋コーチン特有の桜色の卵殻色の卵を長期間にわたって産むことができ、卵殻表面にみられる白斑点も高頻度に出現する。

[キーワード]卵用名古屋コーチン、産卵数、卵重、卵殻色、白斑点

[代表連絡先]電話 0561-62-0085

[研究所名]愛知農総試・畜産研究部・家きんグループ

[分類]普及成果情報

[背景・ねらい]

名古屋コーチン（名古屋種）の卵は卵黄の色が濃く、卵殻色は一般の白玉卵や赤玉卵とは異なる桜色で、さらに、その卵の多くには細かな白い斑点（白斑点）が舞い散る桜の花びらのように付いている。また、味は濃厚で、生卵で食べるととろりとした粘りのある食感がある。

近年、名古屋コーチンの卵に人気が高まり、生産量が増えるにつれて、生産者からは産卵性能をさらに高め、他の鶏卵との差別化をもっと図ってほしいという要望が出されている。そこで、産卵性能に優れ、卵の外観に特徴がある、新たな「卵用名古屋コーチン」を開発する。

[成果の内容・特徴]

1. 10年間（2001～2010年度）の改良により、新「卵用名古屋コーチン」は従来と比較して、産卵数、卵重、卵殻色および白斑点の出現率において成績が向上している。
2. ふ化後 181 日目から 450 日目までの 270 日間における産卵数は 195 個となり、従来の 186 個から約 5%増加している（表 1）。
3. ふ化後 180 日目から 450 日目までの平均卵重は従来よりも約 1 g 増加している（表 1）。さらに、従来に比べ、産卵初期から商品価値の高い MS サイズ以上（52 g 以上）の卵を多く産むようになり、MS サイズ以上の割合は卵を産み始める頃のふ化後 180 日目で従来の 10%から 33%へ、産卵ピーク時期の 210 日目で従来の 53%から 73%へ、それぞれ増加している（図 1）。
4. 卵殻色を色差計で測定した時の L 値が 70 より低い値の卵を濃色卵とする場合、ふ化後 180 日目から 450 日目までの期間における濃色卵の割合の平均値は従来の 88.2%から 95.6%へ向上している（表 1）。さらに、図 2 に示すように、新「卵用名古屋コーチン」は産卵後期でも桜色が濃い卵を持続して産むことができる。
5. 新「卵用名古屋コーチン」は桜色の卵殻の表面に白斑点が付く、「桜吹雪」模様の卵（図 3）を多く産む。ふ化後 180 日目から 450 日目までの白斑点の平均出現率は 77.8% となり、従来の 59.2%から約 19 ポイント上昇している（表 1）。

[普及のための参考情報]

1. 普及対象：採卵鶏を飼育する養鶏農家
2. 普及予定地域・普及予定面積・普及台数等：新「卵用名古屋コーチン」は 2013 年春頃から愛知県を中心に全国地域に普及を開始予定。2015 年における新「卵用名古屋コーチン」の年間の雛出荷羽数は 10 万羽を目標。
3. その他：「卵用名古屋コーチン」は 2000 年 2 月から普及している採卵専用の名古屋コーチンで、肥育専用の「肉用名古屋コーチン」と比べて、産卵数が多く、卵殻の桜色が濃いという特徴がある。「卵用名古屋コーチン」は 2010 年に 6 万 9 千羽の雛が出荷されている。

[具体的データ]

表1 産卵性能の比較

卵用名古屋コーチン	産卵数(個)	卵重(g)	濃色卵の割合(%)	白斑点の出現率(%)
新型	195	57.5	95.6	77.8
現在	186	56.4	88.2	59.2

産卵数はふ化後 181 から 450 日目までの 1 羽あたりの産卵数。卵重はふ化後 180 から 450 日目までの平均値。濃色卵の割合は色差計で測定された卵殻の L 値が 70 より低い値の卵の割合（ふ化後 180 から 450 日目までの平均値）。なお、L 値は色の濃淡を表し、値が低いほど濃い色を示す。白斑点の出現率は卵殻表面に白斑点のはっきりみられる卵の割合（ふ化後 180 から 450 日目までの平均値）。

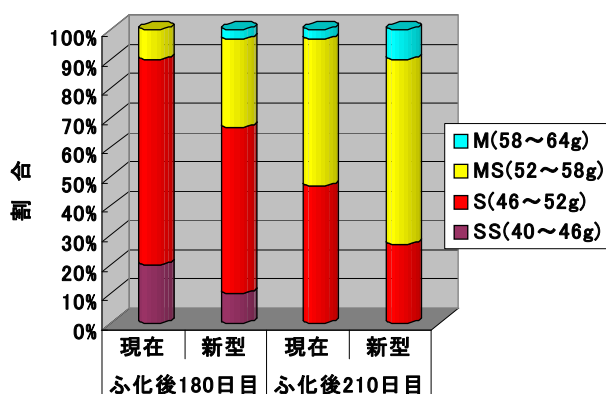


図1 産卵初期（ふ化後 180 日目および 210 日目）の規格区別の比較

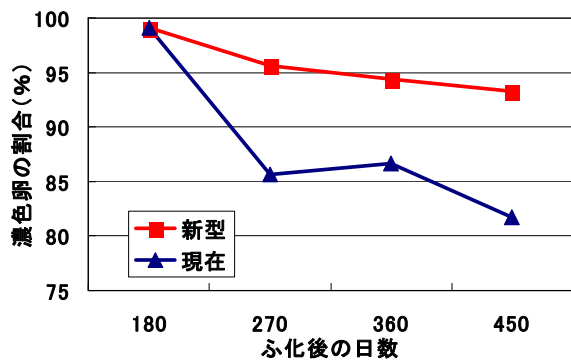


図2 卵殻色（濃色卵の割合）の持続性の比較



図3 桜吹雪模様の新「名古屋コーチン」の卵

(中村明弘)

[その他]

中課題名：卵用名古屋コーチンの卵質改良

中課題番号：

予算区分：県単

研究期間：2008～2012 年度

研究担当者：中村明弘、内田正起

発表論文等：中村ら（2011）愛知県農業総合試験場研究報告 43